

## IAUD Newsletter vol.7 第2号 (2014年5月号) 目次

1. 移動空間PJ「移動情報UD調査シート タブレット端末アプリ」の開発 . . . . . 1
2. 国立印刷局「五千円券改良記念式典」参加報告 . . . . . 3
3. 論文要約 (アブストラクト) 応募締切延長のお知らせ . . . . . 5
4. 第5回国際UD会議2014 開催決定のお知らせ . . . . . 5
5. IAUD アワード2014」応募受付中 . . . . . 6
6. IAUD 6月の行事予定 . . . . . 6

### 誰もが行きたいところへ、安全に、快適に移動できるように 移動空間PJ「移動情報UD調査シート タブレット端末アプリ」の開発

シームレスモビリティを実現するために、特に情報の継ぎ目のない移動環境をめざして活動している移動空間PJは、これまで移動情報の調査手法の研究や「移動情報UD調査シート」の作成、さらにはシートを活用しての調査を繰り返し、調査方法についてブラッシュアップを図ってきました。

そして、2013年度からは調査シートのアプリ化を検討し、現在はタブレット端末アプリの評価版を開発しています。

今号のNewsletterでは、同PJのこれまでの活動経緯及び開発中の評価版アプリについてお伝えします。



開発中のタブレット端末アプリ

### ヒアリング&シートに記入

移動情報UD調査とは、調査する場所のA地点からB地点までに設定された様々なタスクをこなしながら行う、二人一組による聞き取り調査です。

まず、調査のシナリオやルートを作成します。次に、そのシナリオをもとに調査協力者と観察者(記録者)の二人で調査を開始します。主に、移動情報の見つけやすさ、わかりやすさ、補助案内の有無についてヒアリングし、右のような「移動情報UD調査シート」に記入していきます。



移動情報UD調査シート

その際、調査シートへの記入だけでなく、気付きをメモしたり、写真や動画で記録を残します。さらに、調査結果を集計・分析して、改善提案に結びつけます。

これまで、静岡駅や羽田空港、渋谷駅でこのシートを活用して調査を実施し、シートの有効性や使い易さを確認してきました。

「移動情報 UD 調査シート」は、自治体・交通事業者・学校などで UD に関心のある皆さまにご活用いただくため IAUD ホームページに公開しています。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.iaud.net/udroom/archives/1003/25-000000.php>

## 集計の効率化と調査項目の充実化が課題

この調査シートを用いた手法の利点は以下の 3 点です。

- ①移動情報に対する問題(シーム)を浮き彫りにする:シートに記入した内容を集計することで問題点が浮き彫りになり、具体的な解決策を提案しやすい。
- ②事業者間での横断的な改善提案へつなげることができる:サインを作成した事業者を意識しないため。
- ③手軽に調査ができる:シートとペン、カメラがあれば OK。

また、課題は以下の 4 点になります。

- ①集計が非効率的:アナログな手法なので調査結果を手入力で集計する必要がある。
- ②持ち物が多く調査がしづらい:観察者の持ち物が多く、特に雨の日など調査がしづらい。
- ③調査項目が充実していない:手軽に調査できるよう A4 用紙一枚にまとめているため、詳細な調査項目を省いている。
- ④文字が小さく見づらい:A4 用紙一枚におさめている都合上、調査時に見づらい。

## 調査シートアプリの開発へ

このような課題点を解決するため、まだ評価版の段階ですが 2013 年度にタブレット端末アプリを開発しました。

特徴としては、評価入力の簡素化、調査項目の充実化、フォントサイズや色彩などユーザビリティへの配慮、データ集計の省力化となっています。データ集計については、評価版のため未実施ですが、より多くの切り口から評価・分析が可能になると考えています。

## 音声入力も可能に

操作はまず、年代や性別などユーザーの情報を登録します。ユーザー特性については、バリアフリー整備ガイドライン(改訂版)を参考に分類しました。



次に、調査ルートを登録します。これまでは現地に赴いたりインターネットで調べたりしながら設定していましたが、現在は地図上にピンをドロップするという簡単な操作で、場所を追加できます。

調査時にはそれぞれの調査項目をタップ、選択していただくの簡単入力となっています。

その他の自由記述欄については、気づきをテキスト入力するほか、音声入力も可能です。



## 2014 年度に一般公開へ

2013 年度は評価版の調査シートアプリを開発しましたが、2014 年度はよりブラッシュアップし一般公開を目指します。

さらに、街の中にある分かりづらい案内情報をゲーム感覚で共有するレポートアプリの開発に移っていきたいと考えています。

また、このアプリを使って頂けるユーザー開拓や Google Glass など新型デバイスを応用した調査手法についても検討していく予定です。

2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、国内外から地理に詳しくない方もたくさん東京に集まります。「おもてなし」の一環として、ストレスなく移動できる環境も必要です。そのためのツールとして、この調査シートアプリはお役に立てるのではと考えています。(了)

## 視覚障害者への識別性が向上した改良五千円券 国立印刷局「五千円券改良記念式典」参加報告

5 月 8 日(木)に独立行政法人国立印刷局東京工場(東京・西ヶ原)にて開催された「五千円券改良記念式典」に、IAUD 代表として川原啓嗣専務理事(インダストリアルデザイナー／名古屋学芸大学大学院教授)が招待され、式典及び工場見学に参加しました。

当日の様子を川原専務理事が報告します。



記念式典会場の様子

### すべての紙幣を製造している国立印刷局

東京メトロ南北線「西ヶ原」駅より徒歩 1 分のところに、今回の五千円券改良記念式典会場となった独立行政法人国立印刷局の東京工場がある。工場は他に小田原、静岡、彦根にもあるが、私達が日常使用している紙幣(日本銀行券)はすべて国立印刷局によって製造され、日本銀行に納入されている。

ちなみに、硬貨(貨幣)は独立行政法人造幣局の製造である。日本の通貨は目の不自由な人々にも利用可能なように様々な工夫がなされていることは、IAUD Newsletter Vol.5 No.3(2012 年 5 号)で紹介したとおりである。(概要は下記 URL ご参照)

[http://www.iaud.net/dayori-f/data/newsletter/2012/Newsletter03-1205\\_bn.pdf](http://www.iaud.net/dayori-f/data/newsletter/2012/Newsletter03-1205_bn.pdf)

## 識別性向上のため改良された五千円券のホログラム

今回の五千円券改良については、デザイン面の大きな変更はないものの、紙幣表面左下に貼ってある偽造防止用ホログラムの透明シールが従来の楕円形から四角形に変更され、大きさも約 1.7 倍に大きくなった。(詳細は下記 URL ご参照)

[http://www.npb.go.jp/ja/news/20140508\\_kairyousen/index.html](http://www.npb.go.jp/ja/news/20140508_kairyousen/index.html)

実は、視覚障害者のための紙幣の識別については、上述の記事でも報告されているとおり、深凹版印刷により表面左右下側に額面ごとに異なる形状の識別マークが印刷されており、乾くと盛り上がる特殊なインキを採用しているため、指先で触ってわかることが特徴となっていたが、使用年数が経過するごとに、だんだんと識別しにくくなることも指摘されていた。

一方、一万円券と五千円券だけに採用されている偽造防止用ホログラムは楕円形の透明シールで保護されているため、その部分はツルツルの感触であり、ホログラムが付いていない千円券、二千円券との識別において触ってわかる大きな違いとなっていた。

今回の五千円券改良に伴い、透明シールの形状および大きさが変更されたことで、一万円券と五千円券との識別も容易になったわけであり、これは視覚障害者への大きな利便性の向上となった。

## 改良五千円券のお披露目



改良五千円券のお披露目

式典では、古川禎久財務副大臣や氏兼裕之国立印刷局理事長、そして岩田規久男日本銀行副総裁の挨拶に続き、鈴木孝幸日本盲人会連合副会長の御礼の挨拶も行なわれ、各テレビ局ほか報道関係者に向けて、改良五千円券が披露された。

5月12日には、日本銀行から市中銀行を通じ、一般に流通しているため、既に手にしている方も多いかと思われる。実際にホログラム部分を触って確かめていただき、目の不自由な方々に思いを馳せてもらえれば幸いである。

## 高度な印刷技術や偽造防止技術の紹介パネルを展示

会場の一角では、印刷局が保持する高度な印刷技術や偽造防止技術の紹介パネルも展示されていた。

また、券売機や通貨処理機を製造しているグローリー株式会社のポケット型紙幣識別機「言う吉くん」のデモンストレーションなどもあり、バリアフリー、またユニバーサルデザイン対応の商品開発に関する業界の関心の高さがうかがえた。



展示コーナーの様子

※国立印刷局は目の不自由な方用に券種識別手段を提供する取組として、お札識別アプリ「言う吉くん」(アイフォーン用)も無料配信しています。(お札識別アプリ「言う吉くん」の詳細は下記 URL ご参照)

<http://www.npb.go.jp/ja/intro/ninsiki/iukichi/index.html>

## 紙幣の印刷工場も見学

式典が終わると、私を含む来賓招待参加者は全員、工場正面玄関にて記念撮影を行ない、その後、3～5人ごとのグループに分かれて紙幣の印刷工場を見学した。本物の紙幣の印刷をこの目で見られた事は大いに刺激的だった。さまざまな印刷機が高速で回転する中、凹版の原版の精巧さに関心したり、多色刷りのインキ色が思った以上に美しく鮮やかだったのが驚きだった。

最後の工程で、一億円を透明の包装で包んだパック、いわゆる「一億円パック」を持ちあげるといって得難い経験をした。縦 32cm、横 38cm、高さ約 10cm の大きさで、重さは約 10kg とのこと。両手で持つとずっしりとした手応えだったが、意外に持ち上げることができた。(了)

---

## UD2014 論文要約(アブストラクト)応募締切延長!

第 5 回国際 UD 会議の論文要約(アブストラクト)の受付開始以降、たくさんのお問い合わせをいただき、また締切延長のご要望もありましたので、ひとりでも多くの皆様よりご応募をいただくため、応募締切を 5 月 31 日(土)まで延長とさせていただきます

論文は UD に関する研究・開発および実践活動に関わる方ならば、どなたでも自由に応募できます。この機会にぜひ、奮ってご応募ください。

※論文募集についての詳細は「論文募集要領」ページをご参照ください。↓

<http://www.ud-2014.net/papers/index.html>



テーマは「UD のグローバル展開 ～東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ向けて～」

「第 5 回国際 UD 会議 2014」11 月に東京で開催



第 4 回国際 UD 会議 開会式

※詳細内容は下記国際ユニヴァーサルデザイン会議 2014 公式サイトをご覧ください ↓

<http://www.ud-2014.net/>

IAUD は「第 5 回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2014」を 11 月 11 日(火)から 13 日(木)の 3 日間、東京国際交流館(東京・台場)で開催します。

今回の会議テーマは、「ユニヴァーサルデザインのグローバル展開～東京 2020 オリンピック・パラリンピックへ向けて～」です。

公開シンポジウムや論文発表セッション、展示会のほか、今回は地域参加型のワークショップや公開セミナーも実施予定です。奮ってのご参加をお願い申し上げます。



## 第一次審査への応募締切は 7 月 18 日(金)

### 「IAUD アワード 2014」応募受付中

IAUD は一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰する「IAUD アワード 2014」を今年も実施いたします。

UD において一定のレベルを満たしていると審査委員会が判断したものに対して、「IAUD アワード」を授与し、「IAUD アワード」マークの使用が許され、UD の普及啓発や販売促進に活用することができます。

また、すべての受賞対象の中で審査委員会が最も優れていると判断したものに「IAUD アワード大賞」、IAUD 総裁「特別賞」などを授与し、表彰式・プレゼンテーションは 11 月に開催される第 5 回国際 UD 会議 2014 の会場で実施します。

第一次審査への応募は 7 月 18 日(金)までです。皆様のご応募をお待ちしています。  
※詳細については、下記サイトをご覧ください↓

<http://www.ud-2014.net/award/index.html>



IAUD アワード 2013 表彰式



## IAUD 6 月の予定

5 月 23 日現在

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4 13:30~ 労働環境 PJ @IAUD サロン	5 15:00~ メディア UDPJ @IAUD サロン	6	7	8
9	10	11	12 15:00~ 理事会 @セルリアンタワー 東急ホテル	13	14	15
16	17 15:00~ 情報交流センター @IAUD サロン	18 13:30~ 衣の UDPJ @IAUD サロン	19 13:00~ 協同事業検討 @IAUD サロン	20	21	22
23	24	25 16:00~ 評議員会 @セルリアンタワー 一東急ホテル	26	27 13:00~ 標準化研究 WG @IAUD サロン	28	29
30						

次号は 2014 年 6 月発行予定

**無断転載禁止**

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階  
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : [salon@iaud.net](mailto:salon@iaud.net)